

## プログラム参加者の声 (一部抜粋)

### インターンシップ

Internship

Aさん

東大DC  
国内企業

博士課程を終えた後、学校で培ってきた能力をどのように社会で活かすことができるのか、企業の中で実際の業務に近いことを行いながら知りたく思い、インターンシップに関する支援の手厚いイノベーション創出人材育成プログラムに応募しました。

Bさん

東北大PD  
国内企業

大学が企業か、就職で迷っているならばインターンシップを経験する必要があります。インターンシップ先が研究所の場合には、多くの博士学位を持つ社員の方々が活躍しているため、企業で働くイメージを持ちやすいと思います。また、会社内での業務やディスカッションを通して、大学には無い多くのことを学べます。

Cさん

東大DC  
国内企業

異なるバックグラウンドを持つ研究者と多くの議論をかわすなかで、考え方の違いを感じることも多くあり新鮮で多くの刺激を得ることができました。また、企業の研究機関での研究のあり方の一端を垣間見ることができ、何よりインターンシップ先での生活が楽しかったことが今後のキャリアを考えるうえでよい経験となりました。

Dさん

阪大DC  
海外研究機関

博士課程修了後の進路を模索しているため、海外の研究者との人脈拡大や海外の研究動向を知ることは、就職活動の一環と考えました。滞在先の研究室内の研究会にも参加し、研究室のメンバーといつも昼食を共にして交流をしました。その中で研究所やアメリカの研究社会の様子についてなども伺うことができました。

Eさん

東北大DC  
海外大学

現在進めている研究に関する新たなシミュレーション手法を学ぶと共に、今後の研究のためのアイデアを得ることができました。さらに、滞在先の研究室の研究者との会話からその国の文化についても学ぶとともに、その国の伝統的な季節行事にも参加しました。

Fさん

阪大PD  
国内企業

博士研究員の立場では、学生時代の研究と異なり、より広い観点から、自然やシステム・技術を理解し、自ら進んで研究手法の開拓や、全く新しいテーマを発見するような研究が求められます。企業における経験を得ることで、このような要請に応じる力を養いたいと考え応募しました。

### 合宿セミナー (選択科目)

Seminar

Gさん

阪大DC

異分野の人と研究テーマを選定し設定するような経験は初めてでしたのでとても良い経験になりました。また異分野の方と共通項を探し、全員が専門性を活かせるテーマを見つけ出すことの難しさを感じました。

Hさん

東北大DC

実践を通してビジネスマナーなどしっかり身につける必要があると実感しました。

Iさん

東大DC

同じ大学以外の人の活動を知れたことがよかったです。

Jさん

東大DC

企業におけるCAEを用いたソリューション構築について事例を挙げて説明してくださり非常に分

り易かったです。計算科学と実験解析の融合事例を学べ、非常に有意義でした。また、普段ちゃんと考えることのないプレゼン技能などに関するワークショップに参加することができ、非常に楽しかったです。

### PCoMS 合宿セミナー

PCoMS内外の多様な機関の材料科学、物性科学、分子科学、材料デザインなど計算物質科学の異なる分野のDC、PDを中心とした学生や若手研究者が主な参加者です。計算物質科学の幅広い素養、HPC技術、ビジネス・リサーチ・スキルに関する講演の受講やグループ課題実習により、キャリアアップに必要な様々なスキルが一度に学べます。



PCoMS  
Professional Development Consortium  
for Computational Materials Scientists

お問合せ先

東北大学 金属材料研究所  
計算物質科学人材育成コンソーシアム事務局

[E-mail] [pcoms@imr.tohoku.ac.jp](mailto:pcoms@imr.tohoku.ac.jp)  
[URL] <http://pcoms.imr.tohoku.ac.jp/>

※各機関の活動、募集要項詳細、お問合せ先:別紙もしくは以下のホームページもご参照ください。

PCoMS 東京大学 [URL] <http://pcoms.issp.u-tokyo.ac.jp/>  
PCoMS 大阪大学 [URL] <http://www-cp.prec.eng.osaka-u.ac.jp/pcoms/>  
分子科学研究所 [URL] <https://www.ims.ac.jp/>

※PCoMS 東北大学、PCoMS 分子科学研究所に関するお問合せはPCoMS事務局まで。

計算物質科学人材育成コンソーシアム(Professional development Consortium for Computational Materials Scientists:PCoMS)は、文部科学省 科学技術人材育成費補助事業 国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業(次世代研究者プログラム)」による支援を受けています。

広い視野を持つ  
次世代のリーダーを目指す  
階層を超える  
人材育成

## イノベーション 創出人材育成(IPD) プログラム

Innovative Professional Development

# 参加者 大募集!!

1か月以上の国内外他機関でのインターンシップ

計算物質科学、  
ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)技術、  
ビジネス・リサーチ・スキルなど  
キャリアアップの研修



計算物質科学  
人材育成コンソーシアム

PCoMS

Professional development Consortium  
for Computational Materials Scientists

# 「階層を超える人材」育成 ～産業界の未来を見据えたイノベーションの創出

東北大学、東京大学、大阪大学、分子科学研究所に所属する博士後期課程の院生(DC)や博士研究員(PD)を対象に、国内外の企業や公的研究機関での長期インターンシップや、A) 計算物質科学、B) ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)技術、C) ビジネス・リサーチャー・スキルに関する講義やワークショップ、セミナーなどの研修への参加によって、社会のニーズの動向や世界の研究開発動向等を理解し、先を見通す力を持った今後のイノベーションを創出する人材の育成を目指しています。

## 応募条件

東北大学、東京大学、大阪大学、分子科学研究所に所属し、計算物質科学分野の研究を推進する博士後期課程の院生(DC)、もしくは、博士研究員(PD)。

### 1 研修プログラム イノベーション創出人材対象者(フェロー)

[必修科目]  
1か月以上の長期インターンシップ

[選択科目]  
A,B,Cの3つの修得カテゴリに関するセミナー、講習会、研修など



### 2 研修プログラム イノベーション創出人材対象者(一般)

[選択科目]  
イノベーション創出人材対象者(フェロー)と同じ。

## 応募方法

PCoMSのホームページ(下記)のイノベーション創出人材育成のページの“助成希望者登録”フォームから申請してください。なお、必ず指導教員またはグループリーダーの承認を得てください。

[URL] <http://pcoms.imr.tohoku.ac.jp/>

PCoMS 検索

随時申込  
受付中!

## 選考方法

計算物質科学人材育成コンソーシアム(PCoMS)  
イノベーション創出人材育成委員会による

- 1 イノベーション創出人材対象者(フェロー)  
→書類審査と面談
- 2 イノベーション創出人材対象者(一般)  
→書類審査

## 経費支援

[フェロー 必修科目]  
インターンシップに関する下記の費用  
◎旅費(交通費、滞在費、日当)、研究費※実費相当額など  
◎人件費(上限月額15万円まで)  
※ただし、人件費は2ヵ月以上の滞在時のみ支給されます。補助金には上限があります。

[フェロー/一般 選択科目]  
カテゴリA,B,Cのセミナー、講習会、研修の受講にかかる旅費、参加費など

## インターンシップ 滞在先と滞在期間

国内外の大学・研究機関、企業での1か月以上のインターンシップが可能です。応募者が希望する機関・企業、もしくは、本事業の連携機関や各機関の提携機関・企業をインターンシップ先として選択できます。インターンシップ先として連携機関・提携機関を希望する場合は、応募前に滞在希望期間と実施する研究課題をお問い合わせください。

## PCoMS連携機関 およびインターンシップ提携企業

株式会社小松製作所、株式会社帝人、株式会社東芝、株式会社日産アーク、株式会社富士通研究所<sup>※</sup>、株式会社村田製作所、サントリーホールディングス株式会社、新日鐵住金株式会社<sup>※</sup>、住友電気工業株式会社<sup>※</sup>、東レ株式会社、日本ゼオン株式会社、日本電気株式会社、パナソニック株式会社、日立金属株式会社 冶金研究所<sup>※</sup>、三菱重工株式会社、三菱電機株式会社、大阪大学、金沢大学、京都大学、総合研究大学院大学(分子科学研究所)、東京大学、豊橋技術科学大学、名古屋大学、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、国立研究開発法人 物質・材料研究機構<sup>※</sup>、宮城県産業技術総合センター

※※ PCoMS連携機関

## H27-29年度 インターンシップ派遣実績有りの機関・企業

株式会社日産アーク、産業技術総合研究所、新日鐵住金株式会社、住友電気工業株式会社、東京エレクトロン株式会社、東京大学物性研究所、トヨタ自動車株式会社:3名、東北大学金属材料研究所、鳥取大学、日本ゼオン株式会社、日本電気株式会社:3名、物質・材料研究機構、北京航空航天大学(中国)、ローレンスリバモア国立研究所(米国)、Eötvös University(ハンガリー)、Eidgenössische Technische Hochschule Zurich(スイス)、University of Erlangen-Nuernberg(ドイツ)、Vanderbilt University(米国)